	次の算定式により局ごとメタル回線収容装置投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算したものに、メタル回線収容装置ソフトウェア投資額（⑶に係るものを除く。）を加え、メタル回線収容装置投資額を算定する。 ⑴　メタル回線収容装置（回線収容部）投資額 ＝アナログ電話用ボード数×アナログ電話用ボード単価 ＋第一種総合デジタル通信サービス用ボード数×第一種総合デジタル通信サービス用ボード単価 ＋第二種総合デジタル通信サービス用ボード数×第二種総合デジタル通信サービス用ボード単価 ⑵　メタル回線収容装置（ユニット部）投資額 ＝メタル回線収容装置ユニット数×メタル回線収容装置ユニット単価 ⑶　メタル回線収容装置（ユニット部ソフトウェア）投資額 ＝（メタル回線収容装置ユニット数×メタル回線収容装置ソフトウェア単価） ×メタル回線収容装置（ユニット部）投資額 ÷（メタル回線収容装置（回線収容部）投資額＋メタル回線収容装置（ユニット部）投資額） ⑷　局ごとメタル回線収容装置投資額 ＝メタル回線収容装置（ユニット部）投資額＋メタル回線収容装置（ユニット部ソフトウェア）投資額
メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ	１　設備量の算定 ⑴　収容局ごとに、次のア及びイにより求めたユニット数のうちいずれか大きいものを当該局のメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ア　メタル回線収容装置１００Ｍインタフェース数をメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷポート収容率で除したものをメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１００Ｍインタフェース数とし、これをメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり最大インタフェース数からメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり音声収容ルータ接続数を減じたもので除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） イ　アナログ電話及び総合デジタル通信サービスの最繁時呼量に１接続１秒当たり音声パケット数を乗じ、メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ収容率及びメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ最大処理最繁時パケット数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） ⑵　⑴のメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ⑶　⑴のメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり音声収容ルータ接続数及びメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数とする。 ⑷　⑴アのメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１００Ｍインタフェース数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１００Ｍインタフェース数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごとメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を算定する。 局ごとメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額 ＝冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット単価 ＋冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１００Ｍインタフェース数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１００Ｍインタフェース単価 ＋冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース単価
消防警察トランク	１　設備量の算定 ⑴　消防警察トランク設置収容局ごとの消防警察トランク数は、局別収容回線数が２万回線未満の場合は２とし、局別収容回線数が２万回線以上の場合は、当該回線数から２万を減じた後、１万で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）に２を加えた値とする。当該局の収容回線に異行政収容回線が含まれる場合は、消防警察トランク数を１加算する。 ⑵　消防警察トランク設置収容局ごとに、⑴の消防警察トランク数を消防警察トランク搭載架最大搭載数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該局の消防警察トランク架数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごと消防警察トランク投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、消防警察トランク投資額を算定する。 局ごと消防警察トランク投資額